

パイロット事業（実証実験）の実施集団選定状況

平成28年9月7日現在

○41都道府県において対象集団が決定。

○荷種の内訳は、食料品10件、農産物6件、紙・パルプ4件、建設資材3件、飲料2件、鮮魚2件、繊維製品2件、その他15件となっており、全国で様々な荷種を扱う。

	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種	28年度 協議会開催状 況
北海道	○	○	○	鮮魚	○
青森	○	○	○	農産物	○
岩手	○	○	—	木工製品	○
宮城	○	○	—	計器	○
秋田	○	○	—	パルプ・紙	○
山形	○	○	○	農産物	○
福島	○	○	○	農産物	○
茨城	○	○	—	コンクリート製品	○
栃木	○	○	—	食料品	○
群馬	○	○	—	農産物	○
埼玉	△	△	—		未定
千葉	○	○	—	食料品	○
東京	○	○	○	紙	○
神奈川	○	○	○	水道管	○
山梨	○	○	△	食料品	未定
新潟	○	○	—	米菓	○
長野	○	○	—	食料品	未定
富山	○	○	○	紙・パルプ	○
石川	○	○	—	建設資材	○
愛知	○	○	—	建設資材	11月2日
静岡	○	○	○	フィルム・シート	○
	○	○	—	鮮魚	
岐阜	○	○	○	食料品	○
三重	○	○	—	食料品	○

	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種	28年度 協議会開催状 況
福井	○	○	—	繊維製品	○
大阪	○	○	○	食料品	○
京都	○	○	○	鋼材	○
兵庫	○	○	—	機械製品	○
滋賀	○	○	△	飲料	○
奈良	○	○	△	飲料	○
和歌山	○	○	○	建設資材	○
広島	○	○	○	部品(エンジン、トランスミッション)	○
鳥取	○	○	○	乳製品	○
島根	○	○	○	業務用厨房機器	○
岡山	○	○	—	飲料	10月下旬
山口	○	○	○	繊維製品	○
徳島	○	○	○	紙	○
香川	○	○	○	食料品	未定
愛媛	○	○	○	農産物	○
高知	○	○	○	食料品	未定
福岡	○	○	○	ゴム製品	9月12日
佐賀	○	○	—	食料品	9月20日
長崎	○	○	○	食料品	9月16日
熊本					未定
大分	○	○	—	卵	9月23日
宮崎	○	○	○	農産物	○
鹿児島	○	○	—	鶏肉	9月13日
沖縄	○	○	○	飲料・雑貨	○

パイロット事業(実証実験)における取組課題

取組課題

- 発荷主都合による手待ち時間の削減
- 着荷主都合による手待ち時間の削減
- 長時間運転や長時間労働による拘束時間の削減
- 附帯作業に伴う拘束時間の削減



関係者が協力して課題の改善策を検討、パイロット事業の実施

パイロット事業（実証実験）の実施例

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下の実施例のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

<参加集団の例>

- 発荷主（農協）
- 元請運送事業者
- 下請運送事業者
- 着荷主（青果市場）

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題の例>

- 手待ち時間関係
 - すべての農家の荷が揃うタイミングがわからず、手待ち時間が発生
 - 出発時間によって運行ルートを変えており、拘束時間が長くなることもある
- 荷役作業関係
 - 積み込み箇所数が多い（6箇所）
 - 農産品の仕分けが徹底されていない
- 拘束時間関係
 - 勤務時間が実態に即していない

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験の例>

- 手待ち時間の縮減
 - 発荷主が農家からの出荷情報を収集し、それを活用する
- 荷役作業工程の見直し
 - 仕分け作業の徹底（色分けして見間違いをなくすなど）
- 運転時間等の見直し
 - 出荷時間に合わせて、ドライバーの出勤時間を後ろ倒す

実験結果検証

6～8月

9～11月頃

12月以降